

同窓生だより



郵便ポスト

市民大学では十二月二十一日に、クリスマスコンサートを「みらいホール」にて開催いたしました。一般市民の方二百六十名を含め約四百名の参加をいただきました。来降も「みらいホール」にて



クリスマスコンサート

私は市民公募で集まった二十名の準備委員の一人として参加し、紆余曲折しながらも熱い議論から市民大学の基本理念、目標などが作成されました。開校前講座に参加の五十名と公募からの五十名の百名でスタートしました。

行田市民大学同窓会に思いを寄せて

平井 ユリ枝 氏 (1期生)



語り部の会で公演する平井さん

二年制かで議論され「志をもって自ら学ぶこと」と熱意を続けることから二年制となりました。同窓会も検討され私たちが

「志をもって自ら学ぶこと」と熱意を続けることから二年制となりました。同窓会も検討され私たちが

交流委員会が担うこととなり、研究グループのリーダーの参加で会議を重ね設立の運びとなりました。現在の同窓会が

二年制かで議論され「志をもって自ら学ぶこと」と熱意を続けることから二年制となりました。同窓会も検討され私たちが

二年制かで議論され「志をもって自ら学ぶこと」と熱意を続けることから二年制となりました。同窓会も検討され私たちが

人材バンク登録に協力を!

渡部 政幸 氏 (1期生)
NPO市民大学活動センター理事
行田市民大学運営部部长



開催し、市民大学の市民向け行事として定着させていきたいと考えています。市民大学では、今まで講師謝金は「教育委員会」の予算の中から五十万円以内で支払いして

「NPO活動センター」では、三十年度に向けて、「教育委員会」より「放課後こども教室」への人材募集の依頼、「こども大学運営」の打診を受けました。活動の拡大にむけ努力していきますが、同窓会の皆様にも「人材バンク」の登録をお願いし、各方面からの人材提供の依頼に、マッチング機能を強化したいと考えています。市民大学のマンパワーを發揮できる事ではないでしょうか。

人材バンク登録依頼の際は、ご協力をお願いします。

クラブ活動で行田への愛着が湧き 深まる絆と安心した充実の日々に

談話

⑤暑気払い



稿本「郷土忍の歴史」

行田郷土史研究会2012

二期生の歴史文化Bグループは、そのまま郷土史研究会として平成二十四年度から活動を開始した。テーマは行田市の郷土史研究家の森尾津一著「郷土忍の歴史」の稿本を、現代語訳をしてホームページにUPすること。原稿用紙四千枚超もの大作で、行田市譚や行田市史の一部が採用されたが

「全文の公開がなかった」ので、なんとか我々で著者の思いに添えたいと活動を続け、ようやく半分ほどを我々のホームページにUPした。

月例会で、各種の情報交換と本題の現代語訳の読み合わせ・最終校正をする。(各人が分担任で現代語訳をし、メール配信し読み回しの後 最終校正へ)この外の活動として、①いろいろな講演会に団体で参加 ②代表参加で入手資料を学習 ③史料に出てくる市内の名所遺跡などを自転車で探索確認 ④終日研究会での昼食



懇親会の様子



クラブ活動紹介

水生生物調査で、忍川の水質判定及び在来種・外来種の数量調査を実施

忍川の自然に親しむ会は、二〇一五年二月に発足し、同年二月に河川の美化活動に関する三者協定(本会・県土整備・行田市)を締結し、県の川の国応援団美化活動団体に登録されております。

会員は、二期・五期の男性八名・女性三名の十一名が活動しています。

目的は、忍川・さきたま調節池(旧忍川)の自然環境の調査研究を通して会員相互の親睦を図るものです。

忍川の自然に親しむ会

活動、忍川の水生生物調査、環境関連施設の見学会、自然公園等の散策、県主催の川の再生交流会への参加。

又、本会のメンバーは行田市森づくり環境再生実行委員会のメンバーとしても活動します。



忍川の水生生物調査(ナマズ)

二〇一七年度の活動

①川の国応援団主催 神流湖周辺の清掃活動、下久保ダム、玉淀ダムの見学 ②廃棄物の再資源化工場、くぬの森、三富今昔語り部館

見学 ③見沼田んぼ、見沼通船堀及び周辺散策 ④忍川の美化活動及び水生生物調査(南大通り、吾妻橋から下流約三百m、実施日は市広報等に掲載) ⑤都立浮間ヶ池の水質浄化設備の

コラム

江戸時代に整備された五街道の中で、埼玉県を通る中山道と日光街道を歩いてみようと思いついて、ある旅行会社のツアーに参加して歩き始めたのが二〇〇二年の三月だった。二つの街道を毎月二回の予定で歩き、中山道は二〇〇四年十一月に京都の三条大橋に到着した。片や日光街道は距離も短いから二〇〇二年十一月に日光の鉢石に着した。二〇〇五年には私が案内役となって中山道仲間を引き連れて日光街道を歩いた。その後、私自身は奥州街道、甲州街道、東海道と歩き二〇一四年に五街道

街道を歩く

2014年 五街道を完歩

中山道は二〇〇四年十一月に京都の三条大橋に到着した。片や日光街道は距離も短いから二〇〇二年十一月に日光の鉢石に着した。二〇〇五年には私が案内役となって中山道仲間を引き連れて日光街道を歩いた。その後、私自身は奥州街道、甲州街道、東海道と歩き二〇一四年に五街道

編集後記



春まだ浅い季節に小川や田畑の土手に生えるフキノトウは、天ぷらや茎もアク抜きしていただく春一番の香りが口に広がります。フキノの名の由来は、冬に黄色い花を咲かせるという意味で「冬黄(フユキ)」からきているとも。花言葉は、愛嬌・仲間・待望。広報誌を通して皆さんの仲間と会えますよう皆様の投稿をお待ちしております。

中村 葉子 (四期生)

広報交流委員会 編集委員

- 茂木幸蔵 (二期生)
- 道場信昌 (四期生)
- 米田英作 (四期生)
- 中村葉子 (四期生)
- 松井享子 (四期生)
- 寺田泰男 (五期生)
- 田村 勲 (五期生)
- 塚田東司 (七期生)
- 福島輝子 (七期生)

見学 ⑥地元フェスタ発表・展示 ⑦樹名板づくりに参加 ⑧広瀬野鳥の森散策及び片倉シルク館見学 ⑨川の再生交流会に出席し、ポスター展示に参加。環境に興味のある方、特に六期生・七期生・八期生の方、一緒に活動しませんか。

宮井 健爾 (五期環境)